

子育て相談 Q&A

Q. どうして布おむつを使っているのですか？

A. 布おむつはおしっこの度に交換をしますので、かぶれることが少ないと言われています。

紙オムツは”ムレない“と言われていますがおしっこが出た後のオムツの中はやはり湿っています。紙オムツの”紙“とは名ばかりで紙オムツの成分には多くの化学物質が含まれているのです。オムツを白く見せるためには漂白剤や染料も使われています。

また布おむつを使用していることで、子どものおしっこの量や間隔を把握することができます。水分やおっぱいが足りているかもおしっこの状態で知ることができます。また、紙オムツより交換する回数が多く、その度に子どもとの触れ合いの機会がもてるというメリットがあります。

・・・つぶやきコーナー・・・

先日、1歳半くらいの女の子がママの話している横でバックからスマホを取り出し画面ロックを指先でさっと解除しました。さすがにアプリを立ち上げるという事は出来ないようでしたが、指先で画面を右に左にと動かしています。すごいなあと思いました。理屈ではなく、ママの動きを見ていて覚えたのでしょう。

乳幼児用のアプリもたくさんありますね。お話を動画に合わせて読んでくれる”読み聞かせアプリ”というのもありました。どうしても静かにして欲しい病院の待合室や電車の中でついつい便利にスマホを見せてしまうママの気持ちは分かるような気がします。それでもやっぱり読み聞かせは、アプリからではなく大好きなママがよんでくれる、またお気に入りの本が家の本棚に並んでいてほしいなあと思いました。

むこうはらだより

No.1 東大和市向原 1-4-2

H29年度 042-563-3833

向原保育園

雨の多い季節になりました。

子ども達は、お気に入りの傘をさしたり、色とりどりの長靴を履いて歩いたり雨ならではの楽しみもあるようです。肌寒い日や急に真夏のように暑い日もあり疲れの出やすい時期でもありますので、十分に休息をとりながら体調管理に気をつけてお過ごしください。



育児講座 ご案内 要予約制です

時間 10:00~11:00

場所 向原保育園

対象 未就学児

※ お申込みは、前日までにご連絡ください。

日程・内容

7月4日(火) 水あそび

お悩み相談・フリートーク

育児講座は、お子さんと一緒に楽しめるものや、子育てに役立つ内容を計画しています。

お子さんとお二人でも、お友達親子と一緒にでも、未就学児のお子さんのいる方なら、どなたでも参加していただけます。

体験保育 ご案内 要予約制です

お子さんと同年齢のクラスに

親子で入り、過ごします。

時間 0~2歳児 午前9:30~11:00

(食事前まで)

3~5歳児 午前9:30~11:30

(希望により食事前まで)

対象 未就学児

随時受け付けています。

事前にお電話にてお申し込みください。

七夕そうめん

今年の七夕は晴れて
天の川が見られると
いいですね

◎材料(4人分)◎

・そうめん	人数分
・オクラ	1本
・ハム	1枚
・チーズ	1枚
・ミニトマト	4個
・うずらの卵	4個
・カニカマ	1本
・めんつゆ	適量



◎作り方◎

1. そうめんを茹でる
2. オクラを茹で、冷水にさらして輪切りにする
3. チーズとハムを型抜きする
4. ミニトマトとうずらの卵を半分に切る
5. カニカマを手でさく
6. 盛り付けをして、めんつゆをかけたら出来上がり♪

メロンパン

パンに塗るだけで
いつものパンが変
身!! 子ども達は大
好きです。

◎材料◎

・食パン	1枚
・無塩バター	15g
・砂糖	大さじ1
・小麦粉	大さじ2



◎作り方◎

1. バターと砂糖を電子レンジ 600W で 30~40 秒加熱する。
2. 小麦粉を加えて、ねっとりするまで混ぜる。
3. 食パンに塗り、トースターでこんがりするまで焼く。

手作り遊具

手作り遊具は、既製品とは違った温かみを感じられます。
そして何よりも、その子どもに合わせて作れるというのが一番の良さです。
1歳前後の子ども達は、出したり入れたり移し替えたりが大好きな時期です。目の前の色々な形の穴のある箱があると色々なものを持ってきて穴へ入れてみます。入らなくてグイグイ押し込んだりもします。そこで入るものと入らないものと大きさの概念がついたりもします。
子ども達にとって毎日毎日の遊びは無数の挑戦でもあります。
子どもが自ら興味を持ち遊ぶことによって、一つでも多くの経験が出来るように、目の前の子どもに合わせて色々な手作り遊具を作っています。



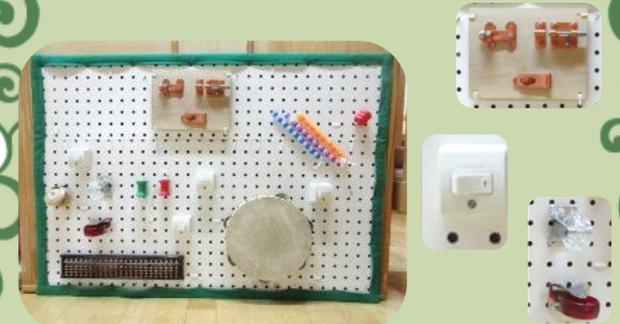
背伸びをして穴をのぞいている子がいます。つかまり立ちや、身体を伸ばすことが出来るようになった時期の子ども達。この時期の子どもにとって背伸びをしたり、しゃがんで箱の下から覗き込んだりという動きは運動機能の発達につながります。



これは、タッパーの蓋に穴を開けたものです。指先で一つずつつまんで「入るかな?」と穴からお手玉等を落とし入れていきます。目で見ただけで、指先を使い入れる、目と手を協調して動かす練習にもなります。このように無意識のうちに子ども達は遊びを通して、いろんなことを学んでいくのです。



◎有孔ボードに結束バンドを使って色々な部品を留めた壁面遊具です。子ども達は“本物の部品”が大好きです。0歳児はボードの前で腕をのぼしたりしながら部品を動かします。もっと上の物を触りたくてお座りの姿勢や、つかまり立ちになったりもします。自然と身体を思い通りに動かせるようになっていきます。



◎お手玉、バランスお手玉

バランスお手玉は首に掛けて歩いたり、手に持って振ったりして遊んでいます。歩き始めの子どもが首に掛けることにより足を前に踏み出しやすくなり歩行を助けてくれます。小さいお手玉は時には食べ物に見立て皿に盛り付けたり布に包んで持ち歩いたりもしています。色々な形や大きさのお手玉で、それぞれの遊び方をしています。

